

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	クラフトの里管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 商工観光課		電話番号(内線): 967-1111(141)	
記入者情報	所属長: 米湊 誠二		担当責任者: 宮田 哲二	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	都市住民			
根拠法令等	伊予市なかやまウッドクラフトセンター条例・そば打ち体験施設条例・木工クラフト体験施設条例			
事業の目的	木材工芸品の展示販売等を通し、都市住民との交流を促進し市の活性化に資する。			
事業の内容	木材工芸品等の展示販売、そば打ち体験施設の設置、木工クラフト製品の展示販売、製作体験。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	町内観光施設と連携してPRに努めると共に、そば打ち・木工体験施設、いちご狩り等を活用しながら集客力と販売額の向上に努める。			
改善策の 具体的 取り組み	集客数・販売額向上のため、指定管理者に対し、営業努力と積極的なPR活動を行うよう指導していく。			

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	6,965	12,401	6,106	12,130
	人件費	479	488	244	488
	合計	0	12,889	6,350	12,618
人件費 内訳	人工数	0.06	0.06	0.03	0.06
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	479	488	244	488
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,444	12,889	6,350	12,618

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
入込み客数	人	58753	60000	32081	58557
販売額	千円	61054	62000	34997	60394

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	9,773	6,712	6,712	6,712	6,712	36,621

成果指標				
成果指標	入込み客数			
指標設定の考え方	施設活用の効果の判断基準となる入込み客数とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	55,000人	60,000人	60,000人	0
実績	58,753人	58,557人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	自主企画イベントの開催や他の観光施設との連携により集客数・販売額の向上に努める必要がある。また、今年度、案内看板改築工事と駐車場改修工事を実施したのだが、老朽化による施設・設備の計画的な改修が必要になってくる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	クラフトの里内には、多種にわたる観光的機能が充実しており、多くの観光客が集まり「道の駅」的な役割を果たしている。しかし近年は、産直市に並ぶ農林産物が減少して、来場者も新鮮な野菜が少ないことから他施設へ流れている傾向も感じる。なかやま特産品センターへの出荷者と異なるために、今後出荷団体の統合（一本化）をして、商品の充実拡充を行う必要がある。特に、第三セクターの健全経営を目指すためにも今後は特産品センターをクラフトの里への統合も視野に入れて、効果効率の向上を目指して運営に取り組まなければならない。近い将来、中山スマートインター開通に向かって、観光や交流の拠点となりうる施設としての期待が大きい施設でもある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	中山スマートIC導入に伴う道の駅を検討すること。